

- 6日、ファン＝ロンパイ欧州理事会議長の訪問

A. 主な動き

1. 内政

▼キシナウ市長選挙決選投票結果等に関する動き

・4日、最高裁判所は、共産党の申請に基づき、キシナウ市長選挙におけるキルトアケ候補の勝利認定を不服とする共産党の申し立ての審議をバルチ控訴裁判所に移管する旨判決。
・5日、ギンプ自由党党首は、ムルヤヌ最高裁判所長官は共産党の政治的影響力の下にある旨非難、議会決議による罷免を主張。同日、議会は、議員53名の賛成をもって、ムルヤヌ最高裁判所長官の罷免決議案を採択。8日、最高行政評議会は、ボテザヌ最高裁判所を最高裁判所長官代行に任命。
・7日、ドドン前第一副首相兼経済・貿易相(共産党)は、裁判所に対して圧力をかけている旨自由党を非難する声明を発表。
・8日、バルチ控訴裁判所は、キシナウ市長選挙におけるキルトアケ候補の勝利認定を不服とする共産党の申し立てを棄却。6月19日の決選投票開票結果を有効とし、キルトアケ候補の勝利を認定。これに対し、同日、サルブ共産党議員は、同決定を不服とし、欧州人権裁判所に控訴する旨発言。

▼A EIの動き

・4日、自由党は、A EI他党に対し、各地方議会におけるA EIによる連合形成を早急に実現させ、大統領選出に向けた対話を開始するべきである旨の声明を発表。
・4日、A EI評議会が実施。ストリレツ自由民主党議会会派代表は、各地方議会におけるA EIによる連合形成に関する合意署名が近日中に行われる旨発表。一方、6日、A EI各代表は、ポスト配分における各党間の妥協が得られないため、合意署名に向けた協議が難航している旨発表。
・5日、ラザル副首相兼経済相(民主党)は、電気公共料金に関する批判に対し、イオニタ経済政策・予算・財政議会常設委員会委員長(自由民主党)を「扇動者」である旨非難。これに対し、イオニタ経済政策・予算・財政議会常設委員会委員長は、ラザル副首相兼経済相は解任されるべきである旨反論。
・7日、ルプ大統領代行(民主党党首)は、A EI他党は各地方議会におけるA EIによる連合形成に関する協議に消極的であると、同実現の可能性を悲観視している旨発言。一方、ストリレツ自由民主党議会会派代表は、一部の地方議会で共産党との協力を進め、同協議を妨害している旨民主党を非難。

▼その他

・1日、ヴォルニツキー首相補佐官は、4日より、国内情勢に

関する協議を目的としたフィラト首相と国内有識者等との意見交換を実施する旨発表。

・4日、エサヌ・ベニス委員会モルドバ常任代表は、6月20日のベニス委員会の提言は過半数の議員の賛成による大統領選出を可能にする法律採択を勧めるものではないとし、憲法裁判所は同様の憲法解釈を許容すべきでない旨発言。
・7日、憲法裁判所は、4月21日の議会によるウレキャン前「我々のモルドバ」同盟党首(現自由民主党所属)の会計検査院長任命を合憲と判断、同違憲を主張していた共産党の申し立てを棄却。
・8日、検事総局は、6月5日及び19日に実施された地方選挙において、深刻な違法行為は行われなかった旨の報告書を発表。

2. 経済

▼マクロ経済

・2日、エキスパート・グループ分析センターは、2011年のGDP成長率を5.7%、インフレ率を8～8.5%と予測。
・4日、モルドバ投資・輸出振興機構(MIEPO)は、2011年第1四半期における経済特区での販売高を、昨年同期比45.9%増の4億3,950万レイと発表。
・4日、国家統計局は、6月の平均給与を昨年同月比8.1%増の2,985レイ(約259.5米ドル)、実質給与を同2.2%増と発表。
・5日、中央銀行は、1～5月期における海外出稼ぎモルドバ人労働者からの送金額を前年同期比8,400万ドル増の5億934万ドルと発表。

▼農業

・4日、EUは、モルドバに対する自主的貿易特惠制度の2015年までの延長、モルドバ産品(ワイン、小麦、トウモロコシ、大麦)の特惠枠拡大を決定。
・4日、ブマコフ農業食品産業相は、モスクワ訪問の結果、スクリニコフ露農業大臣との間で協力協定に署名し、モルドバ青果類の対露輸出を30%増加させる許可を得た旨発言。

▼経済改革

・6日、モルドバ議会は、起業家に対する許認可発給に関する政府機関及び許認可の数を削減する法案を採択。

▼対モルドバ支援

・5日、EBRDは、モルドバ投資プロジェクトのために、1億ユーロを計上する旨決定。

3. 外政

▼ 4 ~ 5 日、レアンカ副首相兼外務・欧州統合相の訪独

・レアンカ副首相兼・外務・欧州統合相は、ヴェスターヴェレ独副首相兼外相と会談、モルドバと周辺地域情勢及びEUとの協力状況等につき協議。

▼ 5 日、第 7 回モルドバ・EU 連合協定交渉(ブリュッセル)の開催

・モルドバからゲルマン外務・欧州統合次官が参加、24 項目のうち財務、分野別及び経済協力に関する3項目につき協議。次回交渉は2011 年秋にキシナウで実施予定。

▼ 6 日、ファン＝ロンバイ欧州理事会議長のモルドバ訪問

・ルプ大統領代行及びフィラト首相は、ファン＝ロンバイ議長と会談。ファン＝ロンバイ議長は、6 月の地方選挙でモルドバ国民が改革と欧州統合路線を支持したことを歓迎、改革の継続を条件に追加支援の実施を約束し、2011～13 年の対モルドバ金融支援(5 億5,000 万ユーロ)を表明。

▼ 8 日、グリシチェンコ・ウクライナ外相の訪問

・ルプ大統領代行は、グリシチェンコ外相と会談、二国間関係、国際場裏における協力、沿ドニエストル問題、モルドバにおける政治危機、モルドバにおけるウクライナ人ディアスポラ問題等につき協議。

4 . 沿ドニエストル

▼ フィラト首相とスミルノフ「大統領」の非公式協議

・8 日、フィラト首相は、ティラスポリを訪問、サッカー観戦の機会を利用してスミルノフ「大統領」と非公式会談を実施、「5 + 2」公式交渉再開、沿ドニエストルを通過する鉄道及び固定電話の再開、スパイ容疑で拘束中のカザク氏解放の可能性等につき協議。

▼ 内政

・4 日、シェフチューク前「最高会議議長」は、スミルノフ「大統領」の経済政策を批判、12 月に予定されている「大統領」選挙に立候補する意向を発表。

・7 日、カミンスキー「最高会議議長」は、「憲法」改正作業は12 月に予定されている「大統領」選挙後も継続される旨発言。

▼ マクロ経済

・4 日、沿ドニエストル「経済省」は、1～5 月期における沿ドニエストルの工業生産高を前年同期比29.1%減と発表。

▼ 対沿ドニエストル支援

・4 日、露は、2 億200 万ルーブルの対沿ドニエストル「共和国」向けの人道支援(年金、食事、幼稚園、学校向け)を実施。

▼ その他

・5 日、スミルノフ「大統領」は、レムラー OSCE モルドバ・ミッション代表と会談、6 月21 日のモスクワにおける「5 + 2」非公式協議での「混乱」はモルドバ政府の責任によるものである旨発言。

・7 日、キシナウを訪問中の OSCE 代表団は、ルプ大統領代行、フィラト首相及びカルポフ国家再統合問題担当副首相等と会談、沿ドニエストル問題解決における OSCE の役割及び今後の見通し等につき協議。

5 . 防衛

▼ CIS 国防相評議会

・6 日、マリヌツァ国防相は、第60 回 CIS 国防相評議会にオブザーバー参加。

本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と標記しています。
(了)